

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成22年7~9月)のポイント

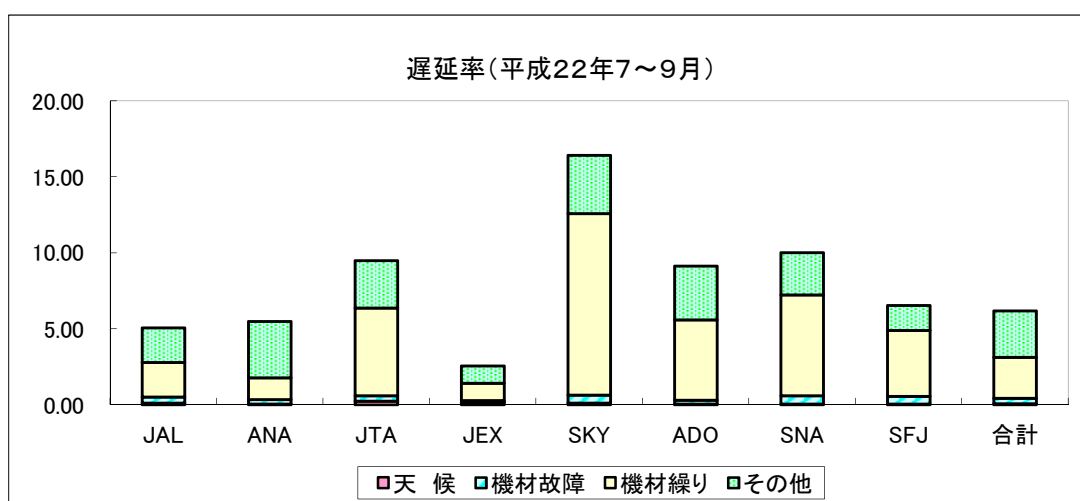
※日本航空: JAL(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸: ANA(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空: JTA、ジャルエクスプレス: JEX、スカイマーク: SKY、北海道国際航空: ADO、スカイネットアジア航空: SNA及びスターフライヤー: SFJ

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成22年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6.17%	5.88%	0.29ポイント悪化

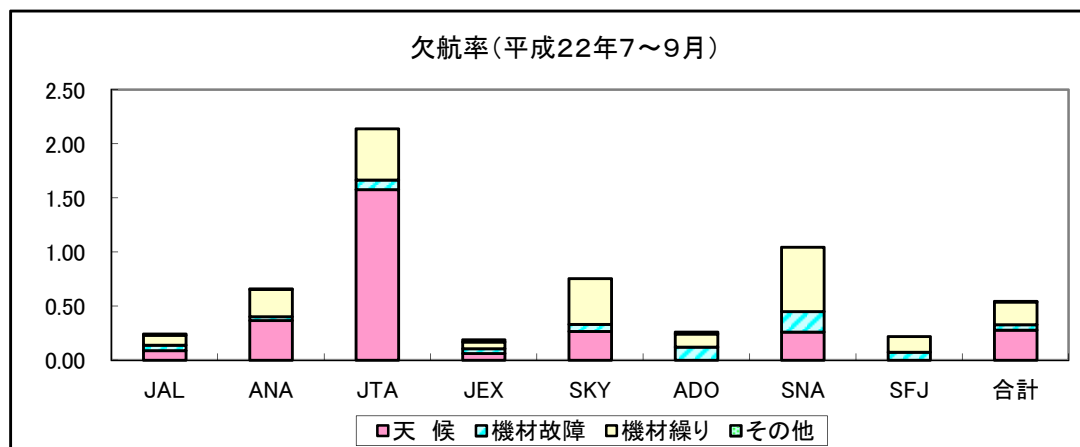
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成22年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.55%	0.69%	0.14ポイント改善



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成22年7～9月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	925km	921km	0.4%増
輸送人員	2266万1815人	2287万7596人	0.9%減
輸送人キロ	209億5972万人キロ	210億7452万人キロ	0.5%減
旅客収入	3697億35百万円	3789億80百万円	2.4%減
輸送人員あたり 旅客収入	16.3千円	16.6千円	1.8%減
輸送人キロあたり 旅客収入	17.6円	18.0円	2.2%減

(2) 路線別データ(平成22年7～9月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	262万1486人
2位 東京＝福岡	189万4945人
3位 東京＝那覇	155万4421人
4位 東京＝大阪	130万8784人
5位 東京＝鹿児島	58万9021人
全路線	2250万3400人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

1位 小松＝札幌	90.2%
2位 関空＝石垣	84.6%
3位 東京＝女満別	83.9%
4位 東京＝石垣	83.5%
5位 東京＝神戸	81.8%
全路線	67.5%

下位5路線は次のとおり。

1位 札幌＝旭川	17.5%
2位 札幌＝釧路	21.5%
3位 中部＝徳島	27.4%
4位 札幌＝函館	27.8%
5位 那覇＝北九州	30.1%
全路線	67.5%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成22年7～9月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	スカイネットアジア航空	4.47人	1.70人
②	北海道国際航空	2.25人	1.65人
③	全日本空輸	1.89人	2.05人
	全社平均	1.29人	1.39人